

授業の様子

授業の一部をご紹介します。

■青年期の発達と学習



この科目では、実習指導者として関わる教育的支援の対象の理解に必要な知識を修得します。具体的には、青年期の発達の特徴や学習理論を学修し、青年期に起こりうる健康問題とその支援の在り方について考察します。講義だけでなく、演習(グループワーク)を通して、実習指導者として関わる対象の理解が深まり、具体的にどのような学習支援が必要なのか、具体的にイメージできるようになります。



講師の先生が各グループを回り、具体的にアドバイスをしていただいています。

■看護学実習指導論



この科目では、看護学実習の特徴、実習指導者の役割、実習指導に必要な倫理と教育評価を学修します。また、臨床での実習指導場面の参加観察実習、および模擬実習指導を通して、学生の実習目標達成につながる効果的な実習指導を理解します。講義・演習・実習を通して、看護学実習の実習指導に必要な知識・技術・態度を修得します。



看護教育学の教員が、事例を交えながら講義を展開します。

実習指導を行うにあたり、基盤となる知識のため、受講生は真剣に取り組んでいます。

講義



演習(参加観察実習後)

臨床での実習指導場面の参加観察実習を終え、実習指導者がどのような教授活動を展開していたのか、グループワークを通して共有します。

受講生は、久しぶりの実習に取り組み、学生の心理状態を体験したこと、実習指導者の教授活動も客観的に観察できたことで、学びの多い実習になったようです。



演習(ロールプレイ)

参加観察実習の学びをもとに、模擬実習指導場面をロールプレイで発表します。

どのような指導が学生の実習目標達成に向けて効果的な指導につながるのか、グループで試行錯誤しながら教授活動の展開を考えます。

ロールプレイを通し、講義や実習で修得した知識・技術・態度を統合し、より実践に活用できる具体的な指導方法を修得していきます。



演習(ロールプレイ)